



【連携協約を締結した県央地域9市町村の首長】

「いばらき県央地域連携中枢都市圏の形成に関する連携協約」を締結しました

東海村と水戸市が、「地域経済の活性化」、「都市機能の向上」、「生活環境の充実」等、連携して取り組む内容を合意

県央地域の9市町村（東海村、水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町）は、2月21日、水戸市を中核市とする「いばらき県央地域連携中枢都市圏」の形成に関する連携協約を締結しました。

●「連携中枢都市圏の形成」とは？
地域において相当の規模と中核性を備える圏域の中心都市が

近隣の市町村と連携し、コンパクト化とネットワーク化により「経済成長のけん引」、「高次都市機能の集積・強化」、「生活関連機能サービスの向上」を行うことで、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済を維持するための拠点を形成することです。

●今回、東海村と水戸市の間で締結した協約では…

連携して取り組む内容として、「地域経済の活性化」、「都市機能の向上」、「生活環境の充実」の大きく3つの分野での取り組みを掲げています（下表参照）。

●今後は…

「いばらき県央地域連携中枢都市圏ビジョン」に基づき、連携事業に取り組んでいきます。※平成28年度に県央地域9市町村で締結した「茨城県県央地域定住自立圏」の形成に関する協定は令和4年3月31日をもって廃止されます。

【問い合わせ】

企画経営課企画調整担当（☎282局1711 内線1336）

【東海村と水戸市が連携して取り組む内容】

地域経済の活性化	企業や産業の育成・支援	産業活性化コーディネーターの派遣による事業者の経営力強化など
	地域資源を活用した産業振興	先進的技術の導入、地域ブランドの育成・販路拡大など
	戦略的な観光施策	圏域全体の観光資源を活用した観光プロモーションや誘客と観光消費の促進など
都市機能の向上	高度な医療サービスの提供	地域周産期母子医療センターへの支援や医師確保のための寄付講座開設、医療施設開設等支援など
	広域的公共交通ネットワークの構築	新たな広域交通の導入に向けた研究や要望活動、既存の圏域公共交通の課題解決に向けた研究、公共交通の利用促進の手法の検討など
	高等教育の環境整備	大学等の魅力向上や人材育成に対する支援など
	高度なICT環境の整備	ICTの利活用についての情報共有や調査研究、社会実験などを通じて行う、都市機能の強化など
生活環境の充実	地域医療	圏域住民への医療情報の提供のほか、医療従事者の確保・育成、健康づくりなど
	福祉	高齢者や障がい者の権利擁護のための成年後見制度の利用促進など
	教育・文化・スポーツ	芸術・文化教育の推進、プロスポーツ等による地域活性化、公共施設の広域利用促進など
	地域振興	合同就職説明会・相談会の開催による雇用機会の確保など
	災害対策	圏域内における災害時の相互応援や連絡体制の構築など
	環境対策	温室効果ガス排出削減や環境保全に係る啓発や対策など
	地域公共交通	住民等の移動手手段の維持・確保など
	移住・定住促進	移住・定住に関する情報発信や婚活支援など
	人材の育成	職員の育成や能力向上、SDGsの普及啓発など